

## <白金標準、オシレーターの好転で 11000 円回復へ・・・>



(出所：オアシス)

金やシルバーの投機抑制で金やシルバーの価格が大きく反落し、中国の春節入りも加わり価格は大きく下落した後は落ち着きを見せている。特に米国連邦最高裁判所がトランプ関税を大統領の権限を逸脱していると判断しており、関税を課した事から景気後退のリスクで売られた白金価格にとってポジティブな材料に写っている。

特に一時 10%を超えるリースレートは落ち着きを見せだしているも、NY 白金は 2000 ドルで下げ渋る値動きを示すと 2100 ドルへ下値を切り上げており、2000 ドルを下回る可能性は低くなったと思える。ただ価格上昇で、ヴァルテラ・プラチナムやシバニー・スチール・ウォーターなど 2 年ぶりに株式配当を行うなど収益性は改善したが、設備投資を行ってきいていない事から生産性は改善していない。そのため南アフリカの 2025 年の鉱物生産量で前年比で 7%減少している。またトランプ政権は温室効果ガスの排出が人の健康を害するという科学的判断である「危険性認定」の撤回を発表するなど、EU に続き化石燃料車に対する規制緩和に繋がっている。そのため白金標準も 10000 円を回復し、春節明けで 11000 円へ向けて下値を切り上げる値動きが続くと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げながら、**シグナル**も下下止まっている。RCI では**短期**が上昇し、**長期**も下げ止まっている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを上回るなど強気を示すサインに思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 3,078,000 円(2026 年 2 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 121,440 円(2026 年 2 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>